



2020年2月13日

各位

上場会社名 MUTOH ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 早川 信正
 (コード番号 7999)
 問合せ先責任者 経営管理部 担当部長 福富 弘悦
 (TEL 03-6758-7100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,800	140	150	100	21.98
今回修正予想(B)	17,050	△ 350	△ 340	3	0.66
増減額(B - A)	△ 2,750	△ 490	△ 490	△ 97	
増減率(%)	△ 13.9	-	-	△ 97.0	
(ご参考)前期通期実績 (2019年3月期通期)	19,202	160	234	64	14.21

修正の理由

当社を取り巻く経営環境は、為替レートがユーロを中心に円高傾向で推移しているとともに、米中貿易摩擦の影響で米国、中国をはじめ欧州でも投資の停滞の影響が予想以上に拡大しています。加えて、中国を発端とする新型コロナウイルスの拡大が世界経済に影響を及ぼす恐れが懸念される事態となっております。このような状況の中、大判インクジェットプリンタの新製品XpertJetシリーズの順次立上げと全世界への導入展開を中心に販売の底上げと収益力向上に取り組んでまいりますが、2020年3月期通期の連結業績は前回予想を下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

売上高については、国内販売は増収基調で推移しておりますが海外販売の減少により、前回予想を下回る見込みとなりました。

営業利益および経常利益については、原価率の改善、物流コストや製品補修費などの費用削減により、収益力は確実に向上しておりますが、販売減による粗利の減少により、前回予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、不動産売却益など特別利益の計上があるものの、経常利益の減少の影響により、前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、2019年10月29日に公表いたしました確定拠出企業年金制度の導入に伴う、業績に与える影響額等につきましては、現在精査中であり、今後、数値が確定次第、速やかに開示いたします。

配当につきましては、前回予想から変更ありません。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上